

2018年度

コンテンツツーリズム学会シンポジウム



我が国のコンテンツツーリズムの歴史を振り返る時、テレビというメディアは常に中心的な位置をこれまで担っていました。近年、インターネットの登場に伴うテレビの苦境が指摘されるようになりましたが、テレビが占める役割やそこで培われてきたノウハウには未だに大きな可能性があると言えるでしょう。今年度のコンテンツツーリズム学会シンポジウムでは、独創的なバラエティ番組を数多く生み出してきた元テレビ東京のプロデューサーである伊藤成人氏(以下敬称略)をお招きし、コンテンツツーリズムとテレビメディアとの関係について議論を行います。

※テーマや登壇者は変更になる可能性があります。

- 日時:2018年6月3日(日) 15:00 ~ 17:00

※14:00~ 学会総会(会員のみ)を開催します。

- 会場:大正大学 5号館3階 531教室
(東京都豊島区西巢鴨3-20-1)
- 参加費:無料(※意見交換会のみ有料)
- 主催:コンテンツツーリズム学会
<http://contentstourism.com/>
- 後援:大正大学

- 参加申し込み



<https://tinyurl.com/act18sympo>

6月1日(金)までに上記QRコードまたはURLからお申し込み下さい。

- お問い合わせ先:学会事務局
mail@contentstourism.com

開会挨拶(15:00 ~)

増淵敏之(法政大学大学院教授/コンテンツツーリズム学会会長)

基調講演(15:10 ~)

コンテンツツーリズムとテレビ ~テレ東流 ハンデを武器にする旅番組~

講師:伊藤 成人(元 テレビ東京プロデューサー)

[プロフィール]

1974年、東京12チャンネル入社。テレビ東京制作局次長、企画委員、(株)テレビ東京制作取締役を歴任。「浅草橋ヤング洋品店(ASAYAN)」「いい旅・夢気分」はじめプロデュース番組多数。現在は(株)SEIJINプロデュースオフィス代表取締役プロデューサーとして番組プロデュース、企画ブレーン、研修講師などを務める。なおツーリズムに関しては、総合旅行業務取扱管理者資格も有している。

パネルディスカッション(16:00 ~)

テーマ:「コンテンツツーリズムとテレビメディア」

コーディネーター:安田亘宏(西武文理大学教授/コンテンツツーリズム学会副会長)

パネリスト:



伊藤 成人

元 テレビ東京プロデューサー



岩崎 達也

関東学院大学教授(元 日本テレビ・エグゼクティブディレクター)/
コンテンツツーリズム学会理事

意見交換会(17:30 ~)

会場:キャンパス内「座・ガモール クラシック 鴨台食堂」

参加費:4,000円